

# 熊本子ども囲碁便り

No. 9 2012.9.5

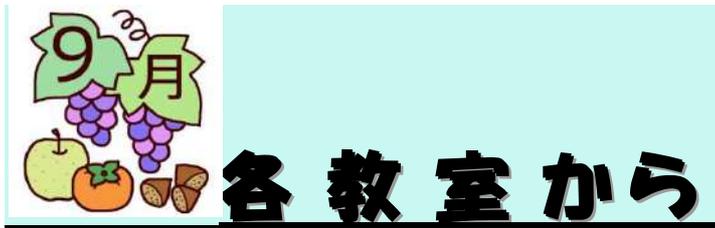
発行：熊本子ども囲碁普及会

託麻囲碁クラブ内 096-382-0174



8月19日(日)初めての「南九州子ども囲碁交流大会」が人吉にて開催されました。(実行委員会主催) 地元、人吉を始め熊本県内各教室、鹿児島、宮崎から55名の幼児、小、中学生が熱戦をくりひろげました。13路盤・19路盤の部に分かれ4局対戦。また、部屋の一角では保護者向けの囲碁教室も開かれ、20名ほどの参加がありました。全勝者は下記の通り。

窪田弘一郎(鹿児島)・井料雅貴(鹿児島)・諏訪免美久(熊本)・米田伊吹(熊本)



## 人吉球磨支部子ども囲碁教室

(人吉市西間上町 2569-2 みのだ内科循環器科内 0966-28-3111 支部長 蓑田耕太郎)

### ○南九州子ども囲碁交流大会●

記 藤川雅朗

人吉で子どもの交流大会を開催してもらいました。

人吉の子どもたちは、まだ大会に出たことがありません。教室でも13路盤で打っています。よその地域で大会があってもきっとだれも参加しなかったでしょう。江藤さんをはじめ多くの方々に協力していただき、人吉の子どもたちも参加できる大会になりました。本当にありがとうございました。

大会で見た子どもの一面をご紹介します。

**米田 伊吹 (5歳)**・・・「大会で1位になる」と宣言していた。今から3ヶ月前は45級だったが現在は28級だ。最近の成績も17勝4敗と絶好調！石取りがじょうずで、この教室で一番の豪腕の持ち主だ。私は「うーん1位はどうかなあ～」とこたえた。結果は、13路盤の部で見事4戦全勝した。脱帽！

昨日も1級上げたばかりだが、さらに2級上げて25級とすることにした。

**木下ナオミ (5歳)**・・・大会で3連勝したが4局目に負けた。N先生が「残念だったね」と声をかけると、「でも友達が全勝したから良かった」と強がりと言った。友達とはライバルの伊吹君のことだ。学年が1つ上のナオミちゃんも石取り名人である。最近、伊吹君に刺激されて、止まっていた昇級が、また進み始めている。3局目には、見事なうって返しをきめていたので、迷わず1級上げて23級とすることにした。

**米田 碧 (8歳)**・・・伊吹君のお姉ちゃん。弟がどんどん強くなって自分の26級に迫ってきた。

1週間で2級も3級も昇級してくるので焦ったのか「伊吹を昇級させるときは1級ずつにしてください」とお願いされたことがある。だれでも弟や妹から追い越されたくないものだ。最近、碧ちゃんも、止まっていた昇級がまた進み始めた。大会では、3勝1敗と好成績だったので、1級上げて25級とすることにした。

弟に追いつかれたが、追い越されないようがんばれ！

普段はあまり真剣な顔を見せない子も、みんな盤面に集中して対局していて、勝ちたいという気持ちが伝わってきた。みんなとてもいい顔をしていました。

友だちさそって  
来てね！



**人吉球磨支部子ども教室は毎週 土曜日 午後1時から  
人吉東西コミュニティセンターで開催しています。  
支部の会員が分かりやすく、やさしく指導します。  
ぜひ、まわりの友だちをさそって参加してください！！**

## RKKカルチャーセンター子ども囲碁講座

(熊本市長嶺南 3-9-1 RKKカルチャーセンター Tel.096-383-3900 囲碁講師 藤森常生)

### “楽しかった南九州子ども囲碁交流大会”

今回初めての鹿児島、宮崎、熊本3県の子ども囲碁交流大会に、RKKカルチャーセンター子ども教室からは3名参加しました。

久しぶりの9路盤、13路盤とあって、子どもたちは多少手こずっておりましたが、皆一生懸命に戦って楽しかったと言っております。

開催地の人吉市の関係者の皆様ご苦労様でした。



お友だちもできて

夏休みの楽しい

思い出ができたよ・・・

## 熊本チビッコ碁友会 (託麻囲碁クラブ)

(熊本市保田窪 5丁目 9-23 Tel.096-382-0174 西山育子・田中信夫)

### 「TOTTOはい」

西原小 4年 水谷 勇斗

去年の秋ごろから、近所のいご教室にかよい始めました。最初は、九路ばんというちいさなばんで、相手の石を取ったり、どうやったら自分の石をつなげることができるかを習いました。しばらくすると19路ばんという大きなばんで打てるようになりました。こう打ったら相手がこう打ってくるだろうから、次はここへ打てばいいなど3、4手先まで考えながら対局をします。そしたら、対局でも勝てるようになり、ぼくは、いごがどんどん楽しくなってきました。教室同士の交流戦では、四戦全勝して、級が上がって行きました。

今年の四月、「TOTTOはい」という九州、アジアカップの県代表を決める予選がありました。そこでも四戦全勝したので、Dクラスの代表になりました。それから、八月の「TOTTOはい」に向けてもっと強くなりたいと思って、教室の強い友達とも何度も対局をしました。

「TOTTOはい」は、北九州のアジア太平洋インポートマートという所でありました。中国の人やたいわんから来た人もいました。一戦目、二戦目はきんちょうせず楽に勝つことが出来ました。三戦目は台わんのひとと対局し、

ゆだんもあったのか負けてしまいました。気を取り直して4戦目も台わんの人のとの対局にいどんだけど、思いもよらぬてんかいになってしまい、また負けました。

ぼくは、とてもくやしくて、あいさつをした後、なみだがあふれてきました。そしたらお母さんが、「負けても学ぶこともあるんだよ。どうして負けたかを考えることで、どうやったら勝てるかが分かるんだよ。次はだいじょうぶ。」と言ってくれたので、最後の五戦目は思い切って対局し大差で勝てました。

くやしい思いもしたけれど、どうやったら勝てるか、負けたことを通して学べたことがよかったです。

また、台わんや中国の人達と、ことばは通じなかったけど、対局を通して同じ時間をすごし、心が通い合うことができたことは、きちょうな経験となりました。

これからも囲碁をつづけて行きます。



## ◀ 囲碁から来た “生活の中のことば” ▶

### 「結局～した」

結局とは、一局の勝負が終結した結果のことである。「結局、彼女にふられた」は、本来は誤りである。

「結局、巨人は負けた」が正しい。結局は勝負のことをいう。「局」とは囲碁の勝負、「対局」の結果をいう。一局お願いしますと囲碁の世界で使われている。

### 「ダメ」

ダメは駄目。「駄」はつまらないこと、値打ちのないことである。駄作、無駄、駄菓子、駄洒落の駄。

駄目はつまらない目のことで、これは囲碁の言葉である。勝負が決まった後の目（領地）を整理する手のことで、ダメを打つという。

## 囲碁教室『阿蘇一碁一会』・ヒカルの碁スクール『阿蘇』

(阿蘇市一の宮町宮地 6273 番地 6      050-3481-7045      代表 藤崎幸次郎)

## 入門教室のやり方

こんにちは！ヒカルの碁スクール『阿蘇』の藤崎です。阿蘇はようやく朝晩は涼しくなってきました。

先日、熊日から学校での入門教室の取材申し入れがありました。夏休み期間でしたが、8月27日坂梨小学校で希望者だけの入門教室を開催させていただくことになりました。当日、何名来てくれるか心配でしたが、行くと見ると18名も来てくれていました。内訳は、6年8名、5年4名、4年3名、3年2名、2年1名でした。

今日は、坂梨小学校の様子も交えながら、私の入門方法をご紹介します。とは言っても基本はプロ棋士安田泰敏先生の『ポンヌキゲーム』が主体ですが・・・(^\_^)

まず始めに、挨拶の後囲碁雑談というか「囲碁って知ってる？」とか「ヒカルの碁読んだ事ある人？」とか話します。

その後、「ルールを話す前に皆に聞きたいことがあります。ちょっと目を閉じて下さい！」って目を閉じてもらいます。「目を閉じたら、これまでに見た一番美しいものを思い浮かべて下さい。物でも風景でも人でもいいですよ。思いついたら手を上げて下さい！」

ぼちぼち手が挙がりますので、おおよそ上がったら目を開けてもらい、早かった子3、4人に何を思い浮かべたか教えてもらいます。

「星空！」「うん、星空は壮大で綺麗だね！」

「夕日！」「私も夕焼けは大好きです」

「阿蘇の風景！」「おお、私も阿蘇の風景が大好きで、引っ越して来ました(笑)」等など色々出てきます。

その後、「人間の脳には右脳と左脳があって、今皆が思い浮かべた『綺麗な物』を綺麗と感じるのは、右脳で感じるのですよ。左脳は、『思考や論理』を、右脳は『五感を通じた感覚・感性』の脳です。囲碁をやると、右脳が鍛えられ、綺麗なものを綺麗と感じたり、人に優しく出来たり、ひらめき力がアップしたりします。」

「その昔、中国で『琴棋書画(きんきしよが)』という言葉があり、これらをするると教養が高まるといわれています。」

「『琴』は、お琴の事で音楽を表し、『棋』は棋道の事で囲碁を表します。『書』が書道で『画』が絵を描くことです。」

「この4つの事は、すべて右脳を鍛えるものなんですよ。囲碁以外は学校で習いますよね。」

「皆さんも囲碁を覚えて右脳を鍛えて下さい。」

結構長いですが、ここまで5分～10分で話します。

その後ルール説明です。

囲碁のルール(前に張ります。)

- 1、しろくろ こうごに うつ
- 2、せんとせんの まじわった こうさてんに うつ
- 3、うったいしは うごかせない
- 4、たてよこかこむと いくつでもとれる

(園児向けにひらがなで書いています)

『ポヌキゲーム』のルールで、まだコウと着手禁止等は教えません。

実戦に出てきた時に教えていきます。

ここから後は、安田先生の教え方とほぼ同じです。

前に出してもらい、ちゃんと置けたり石を囲めたりしたら、

「出来てますか？出来たら拍手！」と言って盛り上げます。

「隅の石は、2個で取れます。さあ、何に見えますか？」

子供が「ミッキー！」「そうそう、じゃあ辺の取る形は？」

ヒントを出してあげると、2年生が「サザエさん！」「そう、良く分かったね」

「隅は、ミッキーで取れます。辺は、サザエさんで取れます。真ん中はお花の形で取れます」

これは結構受けます(笑)

ルール説明と石の取り方を覚えたら、

「はい！これでもうゲームが出来ます。一つ取ったら勝ちの団体戦です。」

そこで、生徒を男女や低学年、高学年等で2チームに分け、チーム同士向かい合って、礼をしてもらってから、一人ずつ前を出してもらい、石を置いてもらいます。時間のある時は、4チームか8チーム作り、トーナメントをしても盛り上がります。

前に出て、すぐに打てる子が多いですが、中には迷う子もいますので「好きな所に置いて良いんだよ」と励ましながらかちまいます。



やがて見ている子から声援が飛び交います。「そこそこ！、その上！、取れる取れる！」とか盛り上がります。1個取りが終わったら、3個取り、5個取りと三回くらいした後、個人戦の開始です。一人一組ずつ紙製九路盤と対局カードを配って、3個取りで対局してもらいます。一人のひと1回ずつ打ってもらい、勝った人に相手のカードも持って来てもらい、スタンプを押します。勝ちが赤で2点、負けが緑で1点です。20分したら手を止めてもらい、大盤で「シチョウ」と「ゲタ」を考えてもらいます。

その後、また20分くらい対局してもらってから、終わります。

最後に得点の高い人に、簡単な賞品を上げます。

最近「ヒカルの碁の九路盤」！

最後の挨拶では、「家に帰ってお父さんやお母さん兄弟にも教えてあげて対局して下さい。」

「でも、めちゃくちゃ勝ってはだめだよ。最初は勝たせてあげて、好きになってもらってね」とお願いします。

以上で、大体1時間半ですが、出来れば2時間くらいほしいところです。

今まで、人に教えた事のない人も、これを読んで教えてみようかなって思えてもらえたら嬉しいです。長文を読んで頂き有難うございました。

## **「ヒカルの碁スクール「阿蘇」インターネット通信教室」生徒募集中！**

特徴

- 1、教室まで通わなくて良い。
- 2、お互いで多面打ちが出来る。
- 3、検討が簡単に出来る。
- 4、スカイプで質疑応答が出来る。
- 5、月謝が安い。

ご質問、お申し込みはメールで！

メールアドレス [itigoitie@aso.ne.jp](mailto:itigoitie@aso.ne.jp)

ホームページ <http://plaza.rakuten.co.jp/igotti/>

## **熊本母と子の囲碁教室**

(熊本市下江津 3-4-7 TEL096-370-2263 江藤 由久子)

## **囲碁と死生観（囲碁を通して人生哲学を知る）**

囲碁を知らない人に囲碁とはどんなものか説明する場合、囲碁は陣地の取り合いで、最終的に陣地を多く取った方が勝ちと説明する人が大半である。しかし、それは結果的にそうなるのであって、囲碁の本質は、石の生き死に、生存を争うゲームと考えます。即ち、生死を考え理解しないとゲームとして成り立たないのです。相手の陣地の中でどうすれば死なずに済むか、どう生きるのが最善かを必死に考えないといけません。

このように生と死を考える戦いのゲームは他に見当たりません。人生も全く同じで、死を深く考えたとき、どう生きるのが最善かを考えるようになります。臨死体験や大病、災害を経験された人は、その後の生き方が大きく変わり成長されると聞きます。苦しみや悲しみのおかげで人の心は深くなり美しくなります。囲碁を学ぶということは、人生を学ぶとも言えます。このようなすばらしい囲碁を多くの子どもに伝える。それは有意義なことと考えます。

記 江藤茂

## 一新こども囲碁教室

(熊本市新町 3-4-22 一新こども囲碁教室 Tel.096-352-7639 会長 毛利秀士 )

E-mail;mouri@silk.plala.or.jp

### 「もう一目強くなろう」一新こども囲碁教室開催の報告

一新校区の子どもたちと「もう一目強くなろう」囲碁教室を、8月18、19日に開催しました。参加した9名の子どもたちが楽しいと言ってくれましたが、これからどのようにしていったらよいか悩んでいます。今回も一言アンケートをとりましたので、写真と共に送ります。

次回の「こども囲碁教室」は、「熊本市子ども文化会館」と共催で開催しますので、たくさんの方の参加をお待ちします。

8月18～19日のこども囲碁教室のアンケートより・・・

- ぼくはルールは分かりにくかったけど、囲碁がとても楽しかったです。
- 囲碁をしにきて2回目だからあまりできなかったけど、楽しかった。
- こすみといっけんとびはむつかしかったけど、おもしろかった。
- きのうちよりこうとけいまをおぼえました。もっとじょうずになりたい。
- みんなとやれてたのしいので、またやりたいです。
- すごく楽しかったので、もっといっぱいこの囲碁をやりたいです。



指導者も子ども達も  
本当に楽しい笑顔になりました。

## 佐土原子ども教室

(熊本市佐土原1丁目10-1 Tel.096-367-1707 渡辺利男)

### 「TOTO杯を終えて」

私は、今年久しぶりにTOTO杯に出ました。試合は5局あって、そのうち2局は中国の子どもと対戦しました。2人とも強かったです。

結局、結果は3勝2敗で悔しかったけど、楽しかったです。来年も出たいなあと思いました。

第二高1年 矢根凜々花

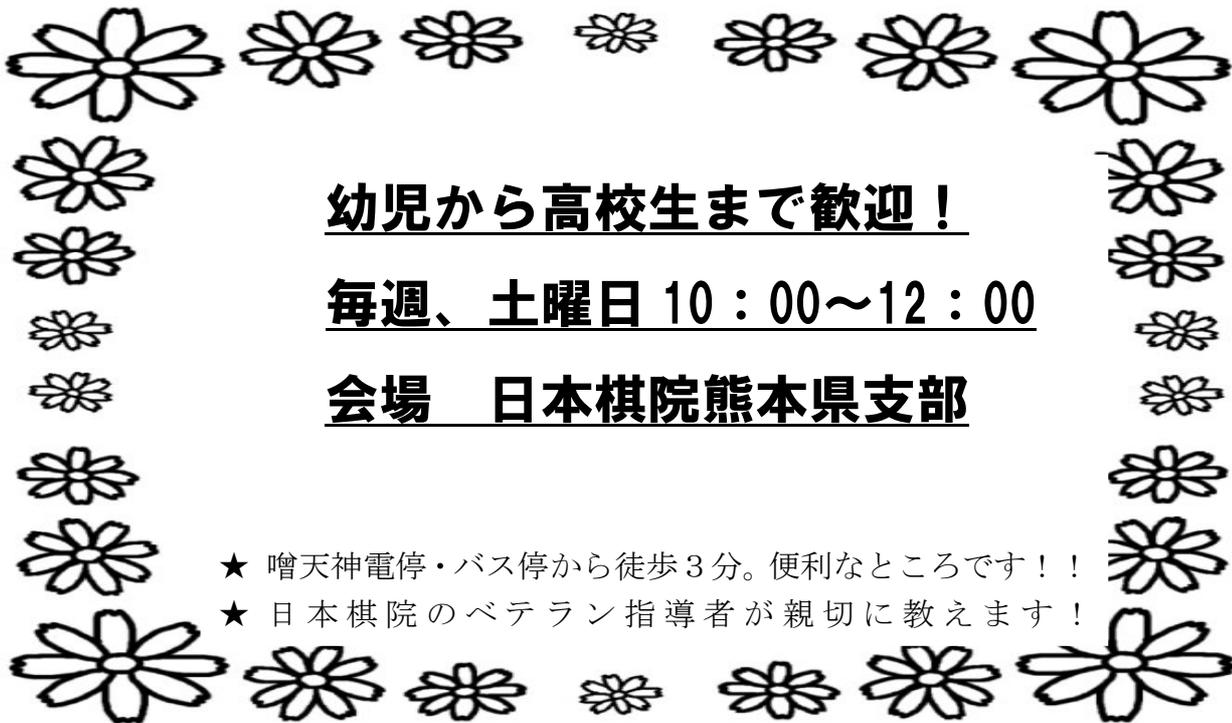
我が家としては三回目の参加となつTOTO杯。中国、台湾の子供達やプロ棋士の先生方もいらして5局対局する1日は、まるで囲碁のお祭りのようです。

入門講座や指導碁、子供達の対局をあちこち巡り、長くて濃い一日が、あっという目に過ぎました。対局後に中国の子どもとお土産の交換をしたり、通訳の方を介して感想を伺ったりする事ができて、囲碁以外の部分でも、とても良い経験をさせていただきました。

母 矢根紀子

## 日本棋院熊本県支部こども教室

熊本市中央区白山2-1-1 白山堂ビル3F Tel.096-363-4964 Fax096-363-4974



**幼児から高校生まで歓迎！**

**毎週、土曜日 10:00~12:00**

**会場 日本棋院熊本県支部**

★ 増天神電停・バス停から徒歩3分。便利なところです！！

★ 日本棋院のベテラン指導者が親切に教えます！

※※**研鑽会**について・・・今月の研鑽会は**9月30日(日)午後1時~**

**「囲碁広場」**にて開催します。たくさんの参加お待ちしております。

問い合わせ：普及指導員 西 (096-297-9128) まで。

## 第9 回文部科学大臣杯 小・中学校囲碁団体戦

### 第3 3 回文部科学大臣杯 少年少女囲碁大会

# 観 戦 記

日本棋院熊本県本部専務理事

園田 洋一郎

東京は、坂の多いところである。市ヶ谷駅を出て帯坂を登ること百メートル、右手の幟（のぼり）のはためくビルが日本棋院の会館である。受付開始の時間もまだ先というのに、もう気の急い人たちが詰めかけても猛暑と大勢の熱気で辺りはむんむん、これでは冷房も余り効き目はなさそうだ。

今日から4日間、県大会を勝ち抜いた“ちびっこ棋士”たちの少年少女囲碁大会があつて、日本一を決めるのだ。

先ずは、小・中学校の団体戦。県代表は、熊本大学教育学部附属小学校（前田典俊・芦田華・朴頌希）と熊本市立出水中学校（田中一光・上村真由・上塚千恵子）である。開会式がある満員の会場は熱気に溢れ、選手より寧ろ母親たちの方が真剣そのものだ。対局開始から5分間だけ、対局場に立ち入りが許され、写真撮影もOK。待ってましたとばかり、父兄のカメラや携帯電話のシャッター音がかまびすしい。中には、棋譜をとっている熱心な父親も見受けられる。そのあとは、遠方から眺めているだけ。肝心の盤上での葛藤は、やきもきしながら想像するしかない。対局の一日目は、一次リーグの三回戦だけ。二日目の本戦トーナメントの一回戦から決勝戦という経過を経て、晴れの日本一が誕生するのだ。

さて、団体戦の結果はどうであったか。残念ながら小、中学の双方とも枠抜けが出来ず仕舞で、一次リーグは敗退となった。

三日目から個人戦が始まる。県代表は、小学生の選手が黨泰志と森美咲希、中学生は鶴岡諭と橋本淳平君である。第一次リーグ戦の三回戦を勝ち抜き、枠抜けしたのは橋本淳平くんだけ。だが、次のトーナメント戦で惜敗。橋本君の相手というのが、生憎なことに棋士を父にもつ千葉の牛栄子さん。彼女は堂々の5位入賞だった。

団体戦も個人戦も東京都が断然光っている。昔から剣術でも学問でも、地方の俊秀たちは挙ってその修業先を“お江戸”に求めた。東京への一極集中という構図は、今も昔もちっとも変わっていないのだ。だが、負けたからといって落胆するにはちと早い。十年前の第23期の名人位に輝いたのは、熊本代表の糸山剛志、そして第二位に同じく畠中星信君が入っているのだ。勝敗は、時の運。

今回は、涙をのんだが、彼らの前途は遼遠なのだ。これから先は、一心不乱に精進しての捲土重来を期したい。



★ 第17回青少年囲碁の集い日程（熊日）が11月18日→11月25日（日）に変更になりました。

★ 2012TOTOカップジュニア囲碁国際大会（8月6日於北九州市）

無差別クラスで**橋本淳平君（湖東中）優勝！！**

★ 第27回全九州高等学校囲碁選手権熊本県大会（9月8日於水前寺共済会館）は下記の通り

団体 男子・・・玉名高校

女子・・・真和高校・

個人 男子 優勝・・・田中一成（真和）

二位・・・上村晃弘（人吉）

女子 優勝・・・橋本優希（第二）

二位・・・矢根凜々花（第二）

# 囲碁ガール誕生



「熊本子ども囲碁便りNo.7」にてルンビニー幼稚園訪問記を載せていますが、この度、同幼稚園に9人もの囲碁ガールが一度に誕生しました！！

ルンビニー幼稚園（熊本市近見）では、数年前から週に一度年長の子ども達に囲碁教室を開催してきました。この夏、指導されていた理事長が他界されました。残念でなりません。囲碁の素晴らしさと教育的効果を訴えて指導に情熱を注いでこられた意思をなんとか引き継ごうと、夏休みに9人の囲碁ガールが誕生しました。

囲碁ガール9人は幼稚園の先生方。指導したのは、「熊本母と子の囲碁教室」江藤茂さん。5回にわたり、囲碁の歴史の講義から始まり、最終日にはそれぞれ立派に9路盤対戦ができるまでになりました。

9人の先生は、黒板に置かれた9路盤と手元のテキストを見ながら、本当に真剣に講義を受けていました。いよいよ対戦が始まるとその場に声をかけられないくらい緊張した空気がはりつめます。そのうちどこからか「キヤーッ！」という声が上がります。多分「アタリ」に気付かなかったのでしょうか。

この声をきくと、「ああ・・・囲碁って面白い！」と言っているように聞こえます。このハラハラドキドキ感がたまらなく楽しいものに変化するのでは・・・？

いよいよ二学期。ルンビニー幼稚園では今までと同じく囲碁教室が開かれます。亡くなられた理事長もきっと天国で安心されているのではないのでしょうか。（記 西山）



## サッカーと囲碁

なでしこJリーグ「AS エルフェン狭山FC」高橋優子さんはセンターバックとして活躍する女子サッカー選手です。同時に、埼玉大学で大学院生として教育学の研究に励んでおり、将来は教員を目指しています。外国でもプレー経験のある高橋さんの趣味は囲碁。

大学の先生に「囲碁をしないとサッカーが強くなれないぞ」とアドバイスを受けたのがきっかけだそうです。

「囲碁では弱い石を作ると負けてしまうので連絡して戦いますよね。こういった思考はサッカーに通じます。」と戦術に共通点を感じています。また、「囲碁を知っている方がサッカーを観戦すると、碁盤を上から観るように楽しむことができると思うので、ぜひ会場に足を運んで試合を見て欲しいですね。」コメントしています。熊本でもサッカー少年で囲碁をやっている人もたくさんいます。囲碁もサッカーも頑張ってください！！（高橋選手については週刊碁より抜粋）

### 編集後記

南九州交流大会は、初めての大会でしたが、大きなトラブルもなく大成功でした。また、小、中全国大会の様子がよく分かる観戦記を引率の県本部から寄稿いただきました。北九州でのTOTO杯では、中国や台湾の子どもたちと対局してくやしい思いをした子どももいるようです。阿蘇教室からは入門教室のやり方についていただきました。囲碁を知らない保護者の方も子どもさんと一緒に家で楽しめるのではないのでしょうか。熊本で徐々に確実に子どもたちへの囲碁の良さが理解されてきていると感じています。ルンビニー幼稚園の取り組みをぜひ、他の幼稚園などに教えてあげてください。次回もたくさんのお原稿お待ちしております。（西山）